

受講のお申込み 開始
2018年2月23日(金)
10:00開始

WEB 同志社東京HUBサイトお申込みフォームをご利用ください。

同志社東京 HUB 検索 <http://doshisha-tokyo-hub.jp/>

FAX **03-6228-7262**

同封のお申込み用紙をご利用ください。
*電話でのお申込みは受けておりません。

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号

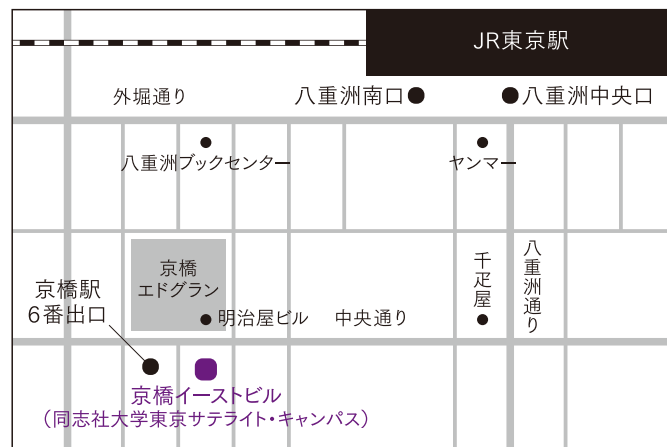
京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行)

TEL:03-6228-7260 FAX:03-6228-7262

E-mail: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<http://doshisha-tokyo-hub.jp/>



- JR「東京」駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線「宝町」駅 A5~A7出口 徒歩3分

DOSHISHA TOKYO HUB

同志社講座

— 2018春学期 —



同志社大学 東京サテライト・キャンパス

Tokyo Satellite Campus, Doshisha University



同志社講座 2018年春学期

同志社大学教員、卒業生など講師による講座です。研究成果の発表を通じて、受講生と共に考え、現代の課題を共有し真理に迫ります。

春学期スペシャル 開催概要

- 定員:100名
- 受講費:各回 3,000円(一括料金はありません)
- 2018春の特典 2016年、2017年の同志社講座の修了証(全回出席者にお渡ししています)を3枚ご持参で春学期スペシャル講座1回を無料で受講いただけます。修了証3枚の特典はお一人様1回に限ります。

春学期スペシャル

「セルフ・コントロールの心理学 —誘惑に打ち克つために—」

6/25
18:30~20:00

月

なぜ勉強しないといけないとわかっているのにテレビをみてしまうのでしょうか?なぜダイエット中なのにケーキを食べてしまうのでしょうか?なぜ健康に悪いとわかっているのにタバコを吸ってしまうのでしょうか?なぜ私たちは誘惑に負けてしまうのでしょうか?その人の意志が弱いからでしょうか?

本講義では、「こころ」と「行動」に関する科学的なデータに基づく学問である心理学の観点から、これらの問題について解説します。実は、これらの誘惑に打ち克って自分の行動を適切にコントロールできるかどうかは、意志の強さによって決まるものではありません。人間の行動には一定の法則性があることが明らかにされており、その法則を理解することで、誘惑に打ち克ってセルフ・コントロールができるようになるためのヒントを得ることができます。この講義を通じて行動の法則を調べる基礎的な研究から、実際にセルフ・コントロールを高める工夫まで、最新の心理学の研究成果をお伝えします。



あおやま けんじろう
青山 謙二郎
同志社大学 心理学部 教授

博士(心理学)。ワシントン州立大学客員研究員、ウェスタンワシントン大学客員研究員などを経て現職。近著に「心理学からみた食べる行動:基礎から臨床までを科学する」(共編著)、「セルフ・コントロールの心理学:自己制御の基礎と教育・医療・矯正への応用」(共著)など。

「山室軍平の思想と生涯 —新島襄の福祉思想と「良心」の系譜—」

8/2
18:30~20:30

木

社会福祉問題の背後には社会構造的課題がその根底にあるが、一方でその解決には一人の福祉事業家の「良心」が起爆剤となって大きな変革を生み出してきたことは歴史が示している。良心からはじまった行動が、社会的共感を生み、その時代の社会で共鳴し、市民的合意を得て、制度化されていくなどの例である。

ところで、「政治の早稲田、経済の慶應、福祉(精神)の同志社」と言われるほど同志社には「一国の良心」を訴えた新島襄に連なる福祉の伝統があり、それは、「同志社派」「良心派」と言われ、近代福祉を確立させる大きな影響を及ぼした。なかでも「同志社の良心」と言われ、廃娼運動等を通して社会的に排除され差別された人々の問題に正面から立ち向かった山室軍平などはその典型的な例である。ほかに「日本の福祉の父」と言われ、児童の非行問題の解決の先駆者となった畠岡幸助(北海道家庭学校)などもいる。本講義では、主に山室軍平の生涯とその思想をとりあげつつ、その源流にある新島襄の福祉思想と「良心」の関係を議論していく。



きはら かつぶ
木原 活信
同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授

博士(社会福祉学)。1965年福岡出身。東京立大学助教授、トロント大学客員研究員を経て現職。専門は福祉思想・哲学、ソーシャルワーク論。日本キリスト教社会福祉学会会長。主著「J.アダムスの社会福祉実践思想の研究」(1998)(福武直賞受賞)、「対人援助の福祉エトス」(2003)「社会福祉と人権」(2014)、「弱さの向うにあるもの」(2015)

「新島、良心って脳にあるんだってよ —脳科学による良心発見物語—」

7/13
18:30~20:00

金

ジョー(神学部学生@今出川)「ヤエ、神学部のレポートで、同志社大学の良心碑の<良心の全身に充滿したる丈夫の起り来たらん事を>をキリスト教的立場で論ぜよ、という課題が出たんだけど。どう考えたらいいんだろう。」

ヤエ(脳科学研究科大学院生@京田辺)「えー、新島、良心って脳にあるんだってよ。この前良心学入門の授業で脳科学研究科の先生が言っていた。それって脳をキリスト教的立場で論ぜよってことだね。うちならキリスト教を脳科学の立場で論ぜよという課題が出るね。」

というように同志社大学今出川キャンパスと京田辺キャンパスは天と地ぐらい世界の見方が違うのです。本講座では京田辺からみた良心、良心はどのようにしたらみえるようになるのか、脳の機能をどのようにしてみることができるようになったのか、良心の欠落したサイコパスが示す脳における良心の在処、良心を人為的に増やすことが可能なのか?等をお話します。この講座は同志社大学が形成しつつある統合知としての良心学の一分野の紹介です。



ぬきな のぶゆき
貫名 信行
同志社大学大学院 脳科学研究科 教授

1951年生まれ、東京出身。1977年東京大学医学部卒業。ハーバード大学客員研究員、東京大学医学部神経内科助教授、理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー、順天堂大学客員教授などを経て2015年から現職。著書に「脳神経疾患の分子病態と治療への展開」(共同編纂 羊土社 2007年)など。

「幕末維新期の京都と町衆 —鳩居堂を中心に—」

8/30
15:00~16:30

木

坂本竜馬や西郷隆盛など、幕末維新期に活躍した著名人は多い。しかし、その活躍の舞台が京都だったにもかかわらず、天皇や公家を除くと、著名人の中に京都生まれの人物はきわめて少ない。ただ、坂本や西郷を含め、幕末維新期に活躍した人物は、京都の町人らの支持がなければ何もできなかった。京都の町人たちは、明治維新に主体的に関わり、その行方を左右した。今回は、その中から代表的な人物を取り上げて紹介してみたい。まず、京都寺町で筆墨香具を商っていた鳩居堂。その主人直恭は、天保の飢饉の際に困窮者の救済活動で知られるようになり、その子・直孝は尊王攘夷派の志士のパトロンとして知られた。直孝は1875年に亡くなるが、その子・直行は店の建て直しに奔走し、銀座への出店を決意する。こうした町人の姿をたどることにより、明治維新という変革をより身近に感じ取ることができるのではないだろうか。



こばやし たけひろ
小林 文広
同志社大学 文学部文化史学科 教授

1961年静岡生まれ。金沢大学大学院修了。京都市歴史資料館歴史調査員や奈良大学文学部教授などを経て、2014年から現職。専門は日本近現代史。著書に「明治維新と京都」(臨川書店)「近代日本と公衆衛生」(雄山閣出版)、共著に「京都における歴史学の誕生」(ミネルヴァ書房)「京都の歴史を歩く」(岩波新書)「明治維新と思想・社会」(有志舎)など。

セミナー室・会議室はどなたでもご利用いただけます

東京サテライト・キャンパスではご希望される方・団体にセミナー室・会議室の貸し出しを行っています。これまで、会社説明会、販促セミナー、団体の総会、会議や研修会にご利用いただいています。

施設概要/セミナー室:スクール形式104名、演台、フラットディスプレイ80インチ1面、55インチ1面、サブ52インチ2面、スピーカー・正面、サイドに各2組、ワイヤレスハンドマイク4本、ピンマイク2本、書画カメラ、ブルーレイディスク/DVDプレーヤー、メモリーカードレコーダー、ホワイトボード
会議室:24名 液晶プロジェクター、モバイルスクリーン、ポータブルマイク付きアンブ内蔵スピーカー、ホワイトボード
*ご利用内容、利用者によって予約可能日と料金が異なります。

予約 学校法人同志社および同志社大学以外の方、団体のご利用予約はご利用希望日の4ヶ月前の1週間後から承っています。法人内諸学校の卒業生団体はご利用希望日の4ヶ月前からご予約ができます。

料金 法人内諸学校の卒業生団体
セミナー室 平日9時~17時 2,000円/h
平日17時~20時、土曜日9時~17時 6,000円/h
会議室 平日9時~17時 1,000円/h
平日17時~20時、土曜日9時~17時 3,000円/h

学校法人同志社および同志社大学以外の方・団体
セミナー室 平日9時~17時 20,000円/h 平日17時~20時、土曜日9時~17時 30,000円/h
会議室 平日9時~17時 10,000円/h 平日17時~20時、土曜日9時~17時 15,000円/h
*使用責任者が本学卒業生の場合は半額

利用に関するお問合せ

同志社大学東京オフィス
TEL 03-6228-7260 平日9:00~17:00
http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/seminar_room/rental.html



セミナー室



会議室

ようこそ赤ちゃん学へ!

赤ちゃん学入門講座 ~ヒトのはじまりを科学で探る~

6/9 第1回 赤ちゃんの「さわる」

ナゾだらけの赤ちゃんですが、このところ感覚についてはだいぶ研究が進んできました。が、そんな中で触覚の研究はとてむずかしく、あまり進んでいません。さらに、胎児期に一番先に出現し、自己の身体認知や運動との関係の中で最も重要な役割があることについてもあまり語られていないように思います。赤ちゃんは「さわる」ことから人生をスタートします。胎児期の触覚について超音波による行動観察やその観察データを用いた胎動のシミュレーションなどを紹介し、その後の「さわる」の発達について、皆さんと考えたいと思います。



小西 行郎 こにし ゆくお
同志社大学赤ちゃん学研究センター長 教授

小児科医、日本赤ちゃん学会理事長。京都大学医学部卒業後、同大学付属病院、福井医科大学、東京女子医科大学などを経て、2008年10月より現職。専門は発達神経科学、行動発達学。

6/9 第2回 赤ちゃんの「学ぶ」

大人は、赤ちゃんにこれから多くのことを学ぶよう期待するものです。しかも、赤ちゃんのうちにより多くのことを学ばせようとさえすることもあるでしょう。反面、赤ちゃんが、何をどのように学ぶのかということについては、まだ科学的には明らかになっていないことの方が多のが現状です。本講義では、現在のところわかっている乳児期の学習の過程に関するトピックをいくつか取り上げ、赤ちゃんが学ぶことの意味を問いかけたいと思います。



乙部 貴幸 おとべ たかゆき
仁愛女子短期大学幼児教育学科 准教授

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了後、(独)科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業CREST研究員を経て、現職。博士(心理学)。福井県立大学非常勤講師、日本赤ちゃん学会評議員。専門は発達心理学。

8/4 第7回 赤ちゃんの「食べる」

進化と発達の観点から「食べる」を考察すると、人間の根源的な特徴がみえてきます。それは、子どもの「食べる」は本来、他者とのやりとりを前提とすることです。生まれてしばらくはミルクのみを口にする赤ちゃん。1歳も過ぎるとさまざまな物を食べるようになります。赤ちゃんはどのような過程を経て、さまざまな物を食べるようになるのでしょうか。そこに他者はどのように関わるとのでしょうか。赤ちゃんの「食べる」の発達について、進化の視点を交えてお話しします。



上野 有理 うえの あり
滋賀県立大学人間文化学部 教授

京都大学大学院理学研究科を単位取得退学後、東京大学21世紀COE特任研究員、日本学術振興会特別研究員を経て、滋賀県立大学人間文化学部に着任。2017年度から現職。博士(理学)。

8/4 第8回 赤ちゃん「環境」

現在の保育の環境は実に多種多様です。特に都会では待機児童解消が最優先にされ、交通騒音が大きいところやガード下でも新しい保育園、こども園は造られています。では、赤ちゃんの間こえや言語獲得、赤ちゃん自身の身体感覚への「騒音」や「振動」の影響は全く無いのでしょうか?赤ちゃんがみずから環境とかかわって、日々遊び、探索できる保育空間になっているのでしょうか?赤ちゃんの育ちを支える「環境空間」の条件を、いくつかの視点から考えます。



志村 洋子 しむら ようこ
埼玉大学 名誉教授
同志社大学赤ちゃん学研究センター 嘱託研究員

博士(教育学)日本赤ちゃん学会常任理事。研究分野は乳幼児の歌唱音声の発達研究、乳児音声とマザリース音声の音響分析的研究、保育室空間の音環境に関する研究。

6/23 第3回 赤ちゃんの「話す」

人間は生まれてからわずか数年のうちに、ことばを操るようになります。この驚異的な発達の第一歩は、ことばを話すよりずっと前、お母さんのおなかにいるときからすでに始まっています。近年の研究の蓄積から、乳児期の音声言語発達過程の詳細なプロセスが明らかになるとともに、赤ちゃんの音声への高い感受性、周囲の大人の語りかけやかかわり方の重要性も指摘されるようになってきました。本講義では、赤ちゃんの声とことばの発達について、実証的な研究方法やその結果を交えながら、具体的に解説していきたいと思います。



麦谷 綾子 むぎたに りょうこ
NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門分野は音声言語発達。赤ちゃんが環境にある音声の特徴をどのように学習しているかについて「赤ちゃん実験」を用いた実証的な検討を行っています。

6/23 第4回 赤ちゃんの「聞く」

私たちヒトはいつからか音を「聞き」「愛で」「奏で」、音を「楽しむ」ようになります。「なぜヒトは音楽を手にしたのか」という問いは大きな科学のミステリーでもあり、赤ちゃんの「聞く」を知ること、ヒトにとっての音楽の起源を知ることもあります。講義では、ヒトのはじまりや音楽のはじまり、音を聞く脳のしくみや、発達における音楽やリズムの役割、音楽を聞くことが脳に与える影響など、赤ちゃんの「聞く」をテーマにお話しをします。赤ちゃん学でヒトの発達と音楽のミステリーに迫る面白さをぜひ感じてください。



藤井 進也 ふじい しんや
慶應義塾大学環境情報学部 専任講師

京都大学博士(人間・環境学)。日本学術振興会特別研究員DC1(京都大学)、PD(東京大学、ハーバード大学)、海外特別研究員(トロント大学)、東京大学大学院 特任助教を経て、2016年より現職。

9/8 第9回 進化に学ぶ子育て

人間の赤ちゃんの心やからだは生物進化と社会文化の産物です。生物進化の歴史をとともに歩んできたのがチンパンジーをはじめとする大型類人猿であり、赤ちゃんの生まれ方や育ち方を種間比較することで、人間発達の進化的基盤と種独自性が浮かび上がってきます。最近までの研究から、直立二足歩行や道具使用、ことばの獲得に加えて、社会性や共感の力、自我理解や協力の力、現在・過去・未来につながる「時間」とかわる力が人間的な心の進化の核心だと理解されてきています。これらの特性を健やかに育む社会文化の重要な柱が「保育」です。



竹下 秀子 たけした ひでこ
追手門学院大学心理学部 教授

1982年から京都大学霊長類研究所共同利用研究員、93年からオランダ、ベルギーの動物園で、集団飼育のチンパンジーとボノボの比較研究に従事した。京都大学博士(教育学)。2017年より現職。

9/8 第10回 赤ちゃん「つながる」

近年、保育や幼児教育の領域において、とみに、人の一生にわたる心身の健康や幸せの土台になるものとして、乳幼児期に培われる非認知的(社会情緒的)な心の力に注目が集まっています。本講義では、その非認知的な心の力とは何なのか、その豊かな発達を支え促すものとして、なぜ、親や保育者といった周囲との大人との緊密なアタッチメント、すなわち感情的につながっているということが、とりわけ大切な役割を果たすと言えるのか、ということについて考えてみたいと思います。



遠藤 利彦 えんどう としひこ
東京大学大学院教育学研究科 教授

専門は発達心理学・感情心理学。東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(Cedep)副センター長。

7/21 第5回 赤ちゃんの「見る」

赤ちゃんは、どんな風の世界を見ているか、想像できますか?数々の実験から、赤ちゃん世界の不思議がわかってきました。私たちの実験から、言葉を獲得する前に色カテゴリがわかること、金色がわかることが解明されました。しかしながら、赤ちゃんは大人と全く同じに世界を見ているわけではないのです。大人が当たり前のように感じている「恒常性」のない世界にいるのです。幼い赤ちゃんは、大人が気づかない、照明の変化に気づきます。赤ちゃん世界の不思議を解説します。



山口 真美 やまぐち ままみ
中央大学文学部 教授

お茶の水女子大学大学院人間発達学専攻修了後、ATR人間情報通信研究所・福島大学生産学習教育研究センターを経て、現職。博士(人文学)。日本顔学会、日本心理学会理事。新学術領域「顔身体学」領域長。

7/21 第6回 赤ちゃん「睡眠」

日に日に新しいことを学習し続ける子どもの活発な脳活動は、エネルギーと神経伝達物質を大量に消費します。それらを補充し、エネルギー消費に伴う老廃物を洗い流し、脳細胞の動きを元気に保つのが「睡眠」の大きな役割です。子どもにとって持続時間以上に大事な眠りの要素は、概日リズム体内時計の働きで営まれる「時間帯と規則性」なのですが、この体内時計は新生児期には未完成で、生後2歳までに完成します。ですから乳幼児期の夜ふかしは体内時計形成に悪影響を与えるだけではなく、将来の心身の発達・健康にも負の影響を及ぼします。



三池 輝久 みいけ てるひさ
熊本大学名誉教授 同志社大学赤ちゃん学研究センター 嘱託研究員

小児科医、小児神経科医、日本脳育推進協議会理事長。熊本大学医学部付属病院院長を経て30年間、概日リズム睡眠障害と不登校、新生児・乳幼児期睡眠障害と発達障害の関連について研究を進め、体内時計形成と発達の関連を提言。

【赤ちゃん学とは】

ヒトのはじまりである赤ちゃんの運動・認知・感覚・言語および社会性の発達とその障害のメカニズムの解明からヒトの心の発達までを対象とする学問。発達という連続する変化を総合的に、そして多面的な視点からとらえるため、多様な研究分野が協力、共同して研究を進めています。



開催概要

回数: 全10回 土曜開催
1日2コマ 定員: 100名

受講料: 一括のみ 30,000円

時間: 13:30~15:00、15:10~16:40

資料: 当日講師より配布いたします

*法人での複数人のお申込みについて
申込み時に、法人名、受講者数を記載してください。受講者数の受講票を発行いたします。法人でのお支払いの場合でも、現金の初回お支払いのみで承っています。お申込書に領収書のあて名、受講票の受け取り先をご記入ください。領収書は現金と引き換えにお渡しします。
法人割引 10名以上の場合は、10%引きといたします。

「いつまでも美しく健康」を科学する

～生活習慣を変えるリレー講座～

いくつになっても若さや健康をうまく保ちたいと、誰もが思うもの。健康寿命という概念が広まり、健康や病気予防に関する情報を目にしなれない日はないほどです。本講座は、同志社大学生命医科学部の教授4名がリレーで登壇します。老化や糖化を防ぎ、機能の低下を避けることにつながる対策を学ぶ機会です。講義で紹介されるテストや測定などを通じてご自身の現状を把握し、対策を実践することで、最終回の頃のセルフチェックが楽しみになるはずです。

5/11 **第1回**
アンチエイジング セルフチェックから始めよう! **講師** よねい よしかず **米井 嘉一**

アンチエイジングの目標は健康長寿です。身体は様々な部品から構成されており、加齢に伴いそれぞれの機能が衰えてゆきます。老化の仕方はヒトそれぞれ、筋肉の老化はサルコペニア、骨の老化は骨粗鬆症、血管の老化は動脈硬化、神経の老化は認知症につながります。30代、40代から老化の弱点が現れ、他の部分にまで悪影響を及ぼします。健康長寿を達成するためには老化のバランスをうまく保つことが大切です。セルフチェックで自分の老化の弱点を見つけましょう。自分の老化の弱点を知り、弱点を是正するための対策を練ることがアンチエイジングの第一歩です。

6/8 **第2回**
筋トレと食事バランスが大切 **講師** よねい よしかず **米井 嘉一**

アンチエイジングのために重要なことは生活習慣の改善です。これは食育、知育、体育に分けられます。体育は有酸素運動、筋肉負荷トレーニング、柔軟体操・ストレッチに分けられ、バランスよく運動することが大切です。どうしても忘れがちなのが筋トレです。筋トレの効能を知り、効果的な方法を学びましょう。食育はカロリーバランスと蛋白(P)、脂質(F)、炭水化物(C)栄養バランスが大切です。PFCバランスの目標は2:2:6です。炭水化物が多めで蛋白不足の人が多いので、まずはここからは正しましょう。蛋白質を2割摂取するのは結構大変です。世の中には極端なことを言う人を時々見かけますが、極端なことよりバランスが重要です。

6/29 **第3回**
糖化は老化 – 糖化度測定で自身を知ろう **講師** やぎ まさゆき **八木 雅之**

近年、老化や慢性疾患を進める新たな要因として「糖化」が注目を浴びています。また健康・美容分野では抗糖化をキーワードにした製品が続々と発売されています。体の糖化は皮膚老化、糖尿病合併症、骨粗鬆症、認知症などの進展要因です。本講座では2011年に国内初の糖化研究専門機関として発足した「糖化ストレス研究センター」の成果をもとに、糖化の体への影響や最新の糖化対策について紹介します。また希望者には講座の前後の時間を使って、最新の測定機で体の糖化度を約1分間で測定します。体の糖化は避けがたい健康リスクのひとつです。自分自身の糖化度を知り、今日からできる糖化対策で老化や生活習慣病を予防しましょう!

※ 糖化度測定は14:30からと、講座終了後に会場で行います。詳細はお送りする受講票でご案内します。

講師プロフィール

米井 嘉一 よねい よしかず
 同志社大学生命医科学部
 アンチエイジングリサーチセンター 教授

1958年 東京生まれ 慶応義塾大学大学院医学研究科内科学専攻博士課程修了。日本鋼管病院内科、人間ドック脳ドック室部長などを歴任。2005年同志社大学アンチエイジングリサーチセンター教授2008年から現職 日本抗加齢医学会理事、日本人間ドック学会評議員 最近の研究テーマは老化の危険因子と糖化ストレス。

八木 雅之 やぎ まさゆき
 同志社大学生命医科学部
 糖化ストレス研究センター チェア・プロフェッサー 教授

京都府立大学大学院博士課程修了。糖化ストレス研究会理事。日本抗加齢医学会評議員。分析機器・試薬、機能性食品メーカーで20年間以上、糖化の検査方法や抗糖化食品の研究開発に従事した後、2011年より現職。現在、糖化の影響や抗糖化対策に関する研究、「糖化は老化」をキーワードにしたセミナー等の普及啓発活動を行っている。

開催概要	回数: 全7回	定員: 100名	受講料: 一括のみ 21,000円
	時間: 15:00~16:30	資料: 当日講師より配布いたします	

7/13 **第4回**
老いない脳も食事次第 **講師** いしうら しょういち **石浦 章一**

世界の人口はすでに70億人を超えたが、わが国では人口が減り続けており、すでに高齢化社会が到来している。2017年の時点では100歳以上の人口が6万人を超えたが、これに比例して認知症の割合も急増している。健康を保ちつつ老化し、自立した生活を送ることは難しいのだろうか。脳科学の知見から、知的機能を維持するには毎日の食事と適度な運動が大切なことが明らかになってきた。石浦分担の本講義では、認知症発症のメカニズムから最新の治療法までをおさらいするとともに、普段の食事がいかに脳機能の維持に重要なはたらきをしているかを学ぶ。また、賢い食事法についてもまとめる。

7/27 **第5回**
寿命は遺伝子で決まっている? **講師** いしうら しょういち **石浦 章一**

アルツハイマー病のリスク因子としての遺伝子が大きな話題になっている。ある特定の遺伝子をもつとアルツハイマー病になるリスクが10倍以上になるとされ、生活習慣もそのリスクに大きく関わることが分かってきた。本講義では、遺伝子の基本についてわかりやすくまとめるとともに、遺伝子が規定している病気やそのなりやすさ、遺伝子の診断法、そして遺伝子によって過去の歴史までわかるというすばらしい研究の成果を紹介する。遺伝子は決して皆さんの運命を決めているのではないこともわかるだろう。

9/14 **第6回**
抗酸化力で健康を手に入れることができる!? **講師** のぐち のりこ **野口 範子**

私たちヒトを含め生物にとって酸素は必須である。酸素を使って生きている限り、私たちは常に酸化ストレスを受けている。酸化ストレスは様々な病気の発症や老化の進行に関係しているが、私たちの身体には優れた抗酸化システムが存在しており、酸化ストレスから身体を守っている。一方で、実は私たちは、身体の機能を維持するために酸化ストレスをうまく利用をしているのである。必要な酸化ストレスまでも消し去ってしまうことが病気を引きおこすことがわかってきた。本講では、酸化ストレスと抗酸化の健康への関わりについて功罪両面から解説し、抗酸化力アップで本当に健康を手に入れることができるのか考えてみたい。

9/28 **最終回**
セルフチェックで成果を確認しよう! **講師** よねい よしかず **米井 嘉一**

第1回で自分の弱点を知り、半年間にわたり老化の仕組みを学び、その対策を実践されたことと思います。セルフチェックでの成果はいかがでしたでしょうか?優秀な成績を残した人もいれば、成果が芳しくなかった方もいることでしょう。たとえ機能年齢が変わらなかったとしても悲観することはありません。半年間で0.5歳加齢するわけですから、機能年齢が維持できれば予防効果があったこととなります。成績を他人と比べる必要はありません。アンチエイジングは自分との闘いです。一番良いことができないならば、二番目に良いことを実践してください。二番目がだめなら三番目をやること。決してあきらめないことが大切です。

講師プロフィール

石浦 章一 いしうら しょういち
 同志社大学生命医科学部 特別客員教授
 東京大学名誉教授

東京大学・理学系大学院修了後、国立精神・神経センター神経研究所、東京大学分子細胞生物学研究所、同・総合文化研究科を経て、現職に。理学博士。1950年、石川県生まれ。専門は分子認知科学。特にアルツハイマー病。「東大超人気講義」シリーズ、「老いない脳」をつくる(ワック/2017)など一般人向けの著書多数。

野口 範子 のぐち のりこ
 同志社大学生命医科学研究科 教授

京都生まれ。筑波大学卒業。医学博士。酸化ストレスによる生体の傷害と抗酸化防御システムを専門とし、アルツハイマー病などの神経変性疾患や、動脈硬化、糖尿病などの生活習慣病の診断と治療および予防法の開発などを研究。共著に「ストレスの科学と健康」(共立出版)、「酸化ストレスマーカー」(学会出版センター)、「酸化ストレスの医学」(診断と治療社)など。

「源氏物語 桐壺の巻を読む」 シーズン3

大島本源氏物語 桐壺を教材に、読んでいくシリーズ今回は3回目。途中から受講の方にもわかりやすいお話が好評です。毎回1～4回は岩坪教授と「桐壺の巻」を読み、5回目は京都で実施します。今回は、源氏物語絵巻の復元をされた日本画家 岡田元史氏をお招きし、復元された二十面の作品を拝見しお話を聞かします。

第1,2回 3/1 木 2017年春・秋に続き、桐壺の巻の最終回です。今回は光源氏が7歳になり学問を学び始めたときから、12歳で元服して結婚するまでを取りあげます。光源氏は3歳で実母、6歳で母方の祖母を亡くし、孤児同然になります。父の帝が宮中に引き取り、教育を施すと、たちまち才能を發揮します。また、子どもの時から、彼的美貌は評判になりました。今回、読む箇所では、光源氏が理想の女性と仰ぐ藤壺の宮が、初めて登場します。藤壺は桐壺帝の妻です。光源氏にとっては義理の母になります。なぜ幼い光源氏は藤壺に魅せられたのか、今回初めて受講する方にも分かるように、お話します。春のひと時、源氏物語の世界に浸ってみませんか。

第5回 3/29 木 「源氏物語絵巻の復元」

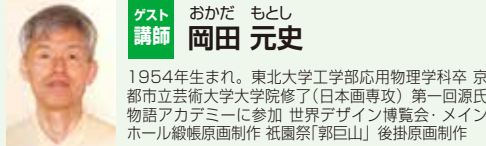


竹河



蓮生

源氏物語絵巻は源氏物語のおよそ百年後に制作され、大和絵の最高峰とされています。その復元は、技法のみならず当時の風俗、習慣、美意識等、得るべきものが多々あります。そこで、実物の観察と図版等をもとに、現存する二十面の絵を復元しました。後世の補彩が多く、剥落、変色も甚だしく、推定に依らざるを得ない部分もありますが、絵具等の画材は当時も現在もほとんど変わっておらず、ほぼ忠実に復元できたと考えています。



ゲスト講師 おかだ もとし **岡田 元史**
1954年生まれ。東北大学工学部応用物理学科卒 京都市立芸術大学大学院修了(日本画専攻) 第一回源氏物語アカデミーに参加 世界デザイン博覧会・メインホール織姫原画制作 祇園祭「郭巨山」後掛原画制作

「グローバル時代を読む」 ～目指すは経済名探偵～

グローバル時代といわれ久しい。グローバル化の反動が世界各地で起こっている。では、グローバル時代とはどのような時代なのか。日々世界で人々が繰り広げる事件、事象はグローバル時代の何を現しているのか、そしてどこに向かうのか。この謎解きへの挑戦は、本講座がめざす「経済名探偵」への一歩です。謎解きを可能にする力を身につけ、経済を通じて世の中の真相をつかむ力をつけましょう。

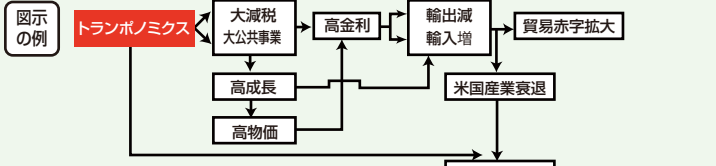
第1回 5/21 月 **第2回 6/18 月** **第3回 7/23 月** **第4回 8/20 月** **第5回 9/10 月**

5回を通じて身につける「謎解きの技」

1、数字が語る経済物語の読解力 2、人びとが語るグローバル時代の物語のウソ発見力 3、経済情報から真相をつかむ力 4、常識とされている中から非常識を見破る力

講座の流れ

毎回の講義は、その折々の「トピック」「事象」から一つをテーマとし、皆さんと共にその背景、歴史的な位置づけや関係プレーヤーの役割、関連事項との関係性を「図解」的に示し解明していきます。(2017年秋季期謎解きテーマ：第1回大学が無償化されたら 第2回日本から現金が消えたら 第3回東京が日本から出て行ったら 第4回 ジャネット・イエレン FRB議長が日本銀行総裁になったら) 1～4回の終了時に次回のテーマと関連資料をお渡しします。次回に向けての宿題です。宿題は、お渡しした記事や資料を徹底的に読み解いていただき、テーマをめぐる因果・連関関係を皆さんが図示していただくことです。当日は、各自の発表（質問を含む）後、受講生全員でその現象の解明と先行きを議論します。



最終回(5回目)は全員のスピーチ大会&懇親会 磨いてきた「謎解き力」の発揮をしていただきます。これまでの受講生も参加し、経済名探偵仲間との交流をはかります。

***本講座は同志社大学大学院ビジネス研究科 浜教授の講義と同じスタイル、テーマで行います。**



講師 いわつぼ たけし **岩坪 健**
同志社大学 文学部教授

開催概要

回数： 全5回 | 定員： 50名

日時・会場： 第1～4回 3/1(木)、22(木)
1回 13時～14時30分 (休憩15分)
2回 14時45分～16時15分

東京サテライト・キャンパス セミナー室
第5回 3/29(木) 14時～15時30分
同志社大学 今出川キャンパス 良心館412

受講料： 5回一括 15,000円
1～4回のみ 12,000円
5回目のみ 5,000円

教材： 「大島本源氏物語」森一郎(編) 和泉書院 1,404円(税込み)
*2017年開催の本講座で使用した教材です。お申込み時に教材 必要、不要をお選びください。



講師 はま のりこ **浜 矩子**
同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授

開催概要

回数： 全5回

定員： 15名 定員を超えるご応募があった場合は抽選で決定します。

時間： 19:00～20:30

受講料： 5回一括のみ 50,000円

講義： 1～4回 講師への質問を講義中に発表していただきます。
第5回 受講生スピーチ大会

2～5回のテーマは講義終了時に講師から発表されます。

***お申込み締切 4月20日(金)17時**

「宗教改革とは何か？」 通年 全10回

同志社大学は、プロテスタントのキリスト教主義大学である。プロテスタンティズムの起源は宗教改革であるが、本講座では16世紀のルターの宗教改革に強い影響を与えた15世紀のチェコ宗教改革を中心に、近代的思考と民族の起源としての宗教改革の意義を深く考えてみたい。その過程で神学的思考に関する理解を深めることができる。講義では、論読、質疑応答など受講生との双方向性を重視する。

開催概要

2018年 5月から2019年2月までの通年講座です。

日時： 5/15,6/19,7/24、8/21,9/18,10/16,11/20、12/18(火曜日) 2019年1/21,2/18(月曜日)

時間： 18:30～20:00

定員： 100名 | 受講料：10回一括のみ 30,000円

教材： ヨゼフ・ルクル・フロマートカ (平野清美訳／佐藤優監訳)『宗教改革から明日へ——近代・民族の誕生とプロテスタンティズム』(平凡社、2017年)、ヨゼフ・ルクル・フロマートカ (佐藤優訳)『なぜ私は生きているか J・L・フロマートカ自伝』(新教出版社、2008年オンデマンド版)、聖書(日本聖書協会による新共同訳、旧約聖書統編を含む引照付きを強く推薦する)を毎回持参すること。*各自でご用意ください。****

第1回 5/15 火 フロマートカの生涯と論集『宗教改革から明日へ』の意義(1)

ヨゼフ・ルクル・フロマートカ(1889～1989年)の信仰告白的な自伝『なぜ私は生きているか』を基に1956年に論集『宗教改革から明日へ』が上梓された意味について考える。

第2回 6/19 火 フロマートカの生涯と論集『宗教改革から明日へ』の意義(2)

チェコスロバキアの民主化運動「プラハの春」が1968年8月にソ連軍を中心とするワルシャワ条約軍の軍事侵攻によって弾圧される状況に直面した際のフロマートカの抵抗を宗教改革の精神で読み解く。

第3回 7/24 火 チェコ宗教改革の終末論(1)

モルナールの論文に即して、クロムネージュのミリチからヤン・フスに至るチェコの終末論について学ぶ。終末論が、歴史に対する批判的考察と未来に対する希望を併せ持つ原理であることについての理解を深める。

第4回 8/21 火 チェコ宗教改革の終末論(2)

モルナールの論文に即して、フス派革命以後の、フス派の分裂とチェコ兄弟団の成立過程を踏まえた上で、フス派の社会倫理について学ぶ。暴力を肯定するターポル派と絶対平和主義のヘルチツキーの視座の差異について学ぶ。

第5回 9/18 火 フス派の聖書理解

ソウチェクの論文に即して、フス派並びにその後継者であるチェコ兄弟団の聖書解釈の特徴について学ぶ。「聖書のみ」というプロテスタントの原理を持つ社会倫理的意味について考察する。



作家・同志社大学神学部 客員教授

1960年東京都出身。1985年同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省入省。主任分析官としてロシアでの情報活動において活躍。2002年鈴木宗男事件に連座し逮捕され512日間勾留。2009年に最高裁で懲役2年6ヶ月執行猶予4年の有罪が確定し外務省を失職。2013年6月執行猶予期間が満了。2005年『国家の畏 外務省のラスプーチンと呼ばれて』で第59回毎日出版文化賞特別賞を受賞。2006年『自壊する帝国』で第5回新潮ドキュメント賞、第38回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『獄中記』『同志社大学神学部』など著作多数。最新刊 『40代でシフトする働き方の極意』(青春出版社 /2017) 『核と戦争のリスク 北朝鮮・アメリカ・日本・中国 動乱の世界情勢を読む』(朝日新書 /2017)

第6回 10/16 火 寛容について

プロロッシュの論文に即して、チェコにおけるカトリック教会とプロテスタント教会の並存がどのようにして可能になったかについて学ぶとともにエキュメニズムの今日的意義について考察する。

第7回 11/20 火 教会と国家体制

プロビーシルの論文に即して、チェコ兄弟団福音教会の歴史について学ぶ。第一次共和国、ナチスドイツの占領、社会主義体制下でのプロテスタント教会の動静について学ぶことを通じ、教会と国家の関係を考える。

第8回 12/18 火 伝統について

フロマートカの論文に即して、チェコ宗教改革の伝統が20世紀のチェコ兄弟団福音教会にどのように活かされたかについて学ぶ。そこからプロテスタント教会にとつての伝統の意味について掘り下げて考える。

第9回 1/21 月 福音と自由について

フロマートカの論文に即して、福音は、われわれに悔い改めを強く求める。人間の原罪について学ぶと共にヒューマンリズムの陥穽と、人間の自由は制約の中においてのみ成り立つという自由観について学ぶ。

第10回 2/18 月 希望について

フロマートカの論文に即して、無力な人間がどのようにして確固たる希望を抱くことが出来るようになるかについて学ぶ。信仰を持つ者は、常に前を見て、進んでいくというキリスト教的楽観主義について考える。

「明治維新150年 日本人はどう変わったのか」

2018年は明治維新から150年を迎える。この150年、日本人はどのように変わったのか。その考え方、行動様式、そして倫理的な規範などどのような変化をとげたかを見ることによって、私たちの「現在」が確認できる。この講座では、その変化の道筋と内容について改めて検証し、日本社会の本質を考えることにする。とくに本来多様性を持ち、独自の道徳規範を守ってきたこの国がきわめて単純な一元国家となったのはなぜかを考えてみたい。

第1回 5/18 <small>金</small>	明治150年の時代区分を考える
明治150年は4代の天皇(明治、大正、昭和、平成)によって編まれているが、それぞれの時代は異なっている。この150年をどのように分けるか、を考えることは、つまり4代をどう見ているかという意味でもある。今回の講座では政治・軍事・社会などの尺度で時代区分を試みてみたい。そのことで私たちは意外な発見をするかもしれない。	

第2回 6/15 <small>金</small>	日本人の道徳規範や倫理の変容を見る
近代日本の出発点にあたり、日本社会を貫いている道徳や倫理、さらには思考法などどのような変化をとげたのか。そのことを具体的に語っていく。もともと日本人は江戸時代270年の間にきわめて抑制的な文化を育てあげてきた。こうした文化がどのように変化したのか、そしてこのような文化は次代にどう語り伝えられたのかを見てゆく。	

第3回 7/20 <small>金</small>	明治150年と日本人の戦争観を検証する
江戸時代の270年間、日本はただのいちども対外戦争を体験しなかった。幕末には戦争を表す単語さえ人びとからは忘れられていた。戦争を知らずに育った日本人は、明治以降に幾つかの戦争を体験することによって、しだいに戦争の本質を知っていった。しかし真にその本質を理解できたであろうか。改めて私たちはそのことを丁寧に検証してみることが必要である。意外なことに日本社会は戦争観をもっていないことがわかる。	

第4回 8/24 <small>金</small>	4代の天皇たちに課せられた役割とは何か
明治、大正、昭和、平成の4人の天皇の性格と言動、そのことを調べていくと、天皇という制度のもとで、一人の人間としての天皇にはそれぞれの特徴があることがわかる。いわばそのような個性をいかにそぞおとしていくか、それが帝王教育でもあった。天皇という立場には何が期待され、何を学ぶことが求められたのか、私たちは平成を終える今、具体的に考えてみる必要がある。そして次代の天皇像を考えてみるべきである。	

第5回 9/21 <small>金</small>	国際社会の日本人論とその変化を考える
明治150年の今、国際社会は日本をどう見ているのだろうか。日本を見つめる目はいつの時代にも複雑である。つまりなかなか理解してもらえない面がある。270年も他国と交流をもたなかったという国、しかし経済上ではかなり活発に交易しているという現実、キリスト教文明を拒否しているながら自らの文化・文明に特別に価値を置いていたわけではないという姿勢、外国にとって日本人ははたしてどういう存在だったのであろうか。	

「簡単に伝わる英会話～ネイティブ表現でトレーニング～」

海外旅行でもっとスマートに話せたら…、旅行者に道を聞かれた時、答えたい…、外国人の友人と親しく話したい…
 中学英語レベルの単語とフレーズなのに、とっさにそのフレーズが出てこないのはなぜでしょうか？それは、自然なフレーズ、英語的表現が身につけていないから。本講座では、簡単なフレーズで状況に応じて言葉がでてるようにアウトプットの練習をおこないます。「ネイティブのような会話」は、フレーズとやりとりのテンポにコツがあります。突然でも言いたいことがいえるようになるには、覚えたフレーズを繰り返しアウトプットすることです。隔週の開講ですが、宿題をこなすことでより身につくはずです。

第1回	5/15	火	第6回	7/24	火
第2回	5/29	火	第7回	8/7	火
第3回	6/12	火	第8回	8/21	火
第4回	6/26	火	第9回	9/4	火
第5回	7/10	火	第10回	9/18	火

90分の進行例	① warming up/前回の宿題 発表 ② main activity/今週のフレーズの紹介～繰り返し発話練習、会話をグループで練習 ③ practice/映画の1シーンでリスニングトレーニング、会話練習 ④ homework assign/配布プリントを使って次回までの宿題を確認
----------------	--

- **英語2講座共通お申込み方法** (受講料事前振込み制です。ご注意ください。)
1、開講最低人数のお申込みがあり次第、「申込み受付書」及び「振込み依頼書」を郵送いたします。

	講師 ほさか まさやす 保阪 正康
ノンフィクション作家・評論家 日本近現代史研究者	

1939年北海道出身。1963年同志社大学文学部社会学科卒「昭和史を語り継ぐ会」主宰 昭和史の実証的研究のため、延べ 4000人の人々に聞き書き取材を行い独自の執筆活動を続けている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。2004年、個人誌『昭和史講座』の刊行を始め、一連の昭和史研究で第52回菊池寛賞受賞。2016年(平成28年) 天皇陛下の退位をめぐり政府が設置した「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」が行うヒアリング対象者に選ばれた。近著「田中角栄と安倍晋三 昭和史でわかる「劣化ニッポン」の正体」(朝日新書 /2016)「日本人の「戦争観」を問うー昭和史からの遺言」(山川出版社 /2016)「ナショナリズムの昭和」(幻戯書房 /2 0 1 6)『憲法を百年いかす(半藤一利氏の対談)』(筑摩書房 /2017)ほか。明治150年の今年、3冊の新刊本が上梓される。

開催概要
回数: 全 5 回
定員: 100 名
時間: 13:30～15:00
受講料: 5回一括のみ 15,000円
資料: 当日講師より配布いたします

	講師 まえだ くみ 前田 久美
英語講師	

インターナショナルスクール高校課程卒業後、米国大学で秘書課を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。

開催概要
回数: 隔週 全 10 回 定員: 15 名
時間: 15:00～16:30
受講料: 10回一括のみ 21,000円
資料: 講師より配布します。
*万が一開講出来ない場合は、開講日1週間前までに連絡いたします。

同志社講座 ～お申込みから受講までの流れ～

○お申込み受付 **2月23日(金) 10:00～**

WEB	FAX
http://doshisha-tokyo-hub.jp/	03-6228-7262
同志社東京 HUB	検索

同志社東京HUBサイト
お申込みフォームをご利用ください。

同封の申込みフォームに必要事項を記入のうえ、FAX番号まで送信してください。

○**受講料のお支払い** 事前振込み制の講座以外は初回に受付でお支払いください。受付でのお支払いは現金のみです。開講後もしくは振込み後は受講料の払い戻しはいたしません。

○**事前振込みの流れ** 開講決定次第、「振込み依頼書」を郵送いたします。指定日までにお振込みください。期日までに入金が確認できない場合は受講いただけません。ご入金後1週間を目安に「受講票」をお送りします。

○**開講のご案内** 開講可能になり次第、事務局から「受講票」をお送りします。受講票(ハガキ)は1講座1枚です。

○**受講開始** 講座日には指定された教材がある場合は教材と受講票をご持参ください。受講票を講座受付にお出しください。出席印を押印いたします。最終回まで保管をお願いします。全回出席の方には、最終回に「修了証」をお渡ししています。

○**受講時の注意事項** 講義の録音、録画、講義中の写真撮影はご遠慮ください。録音は講師から許可があった場合のみ許可いたします。講義中は携帯電話の電源を切っていたりか、マナーモードにしてください。

○**休講・補講** 1、講師の都合、天変地異、事故、交通機関ストライキ等によりやむを得ず休講する場合があります。その際に当初の日時を変更する場合があります。
2、休講及び補講の連絡は事前に判明した場合は受講生に直接、または講義にてご連絡します。
3、突然の天変地異や事故などによって、当日判明した場合は、同志社大学HP、同志社東京HUBサイトに掲載し、メールにて直接お知らせします。

○**受講キャンセル、当日の欠席** 1、お申込み後にキャンセルする場合は、同志社大学東京オフィスまでご連絡ください。電話、メールで承ります。
2、受講されている講座を欠席された場合、後日その日に配布された資料をお渡ししますのでお申し出ください。一部、欠席連絡を要する講座につきましては、講座初回にご案内します。

「ダイアログから学ぶ英文法と実践英会話」

英語の知識は多少あるけれど、アウトプットが思うようにならない。英文法も含め、英語学習を再スタートしたい、またはブラッシュアップしたいとお考えの方にお薦めです。「毎週トレーニング:継続」をキーワードに、日常会話で使う表現をダイアログから学びます。カンパセーションを中心に文法・発音・リーディング・ライティングを効率よく学習していきます。「知っている英語」から「使える英語」へ。自分の「ことば」で英語を発することで表現力を身につけていきましょう。

第1回	5/22	火	第6回	6/26	火	第11回	7/31	火
第2回	5/29	火	第7回	7/3	火	第12回	8/7	火
第3回	6/5	火	第8回	7/10	火	第13回	8/21	火
第4回	6/12	火	第9回	7/17	火	第14回	8/28	火
第5回	6/19	火	第10回	7/24	火	第15回	9/4	火

90分の進行例	● warming up/身近な出来事を短いフレーズで ● review/前回のポイント再確認とホームワークチェック ● main activity/教材を使いポイント練習・基礎固めをテキストに沿って行います。listening, discussion, writing, speakingを実践します。 ● 応用編/設定したシチュエーションに基づいたグループワーク ● homework assign
----------------	---

2、指定日までに受講料と教材費を指定口座にお振込みください。期日までに受講料のお支払いが完了しない場合、受講をお断りする場合があります。
3、入金後、約1週間を目安に講座受講証をお送りします。振込み受領証は講座終了時まで保管してください。

同志社講座 ～お申込みから受講までの流れ～

WEB	FAX	事務局 窓口
http://doshisha-tokyo-hub.jp/	03-6228-7262	同志社大学東京オフィスにて直接お申込みを受付いたします。
同志社東京 HUB	検索	受付時間 平日 9:00～17:00

同志社大学東京オフィスにて直接お申込みを受付いたします。

受付時間
平日**9:00～17:00**

○**受講料のお支払い** 事前振込み制の講座以外は初回に受付でお支払いください。受付でのお支払いは現金のみです。開講後もしくは振込み後は受講料の払い戻しはいたしません。

○**事前振込みの流れ** 開講決定次第、「振込み依頼書」を郵送いたします。指定日までにお振込みください。期日までに入金が確認できない場合は受講いただけません。ご入金後1週間を目安に「受講票」をお送りします。

○**開講のご案内** 開講可能になり次第、事務局から「受講票」をお送りします。受講票(ハガキ)は1講座1枚です。

○**受講開始** 講座日には指定された教材がある場合は教材と受講票をご持参ください。受講票を講座受付にお出しください。出席印を押印いたします。最終回まで保管をお願いします。全回出席の方には、最終回に「修了証」をお渡ししています。

○**受講時の注意事項** 講義の録音、録画、講義中の写真撮影はご遠慮ください。録音は講師から許可があった場合のみ許可いたします。講義中は携帯電話の電源を切っていたりか、マナーモードにしてください。

○**休講・補講** 1、講師の都合、天変地異、事故、交通機関ストライキ等によりやむを得ず休講する場合があります。その際に当初の日時を変更する場合があります。
2、休講及び補講の連絡は事前に判明した場合は受講生に直接、または講義にてご連絡します。
3、突然の天変地異や事故などによって、当日判明した場合は、同志社大学HP、同志社東京HUBサイトに掲載し、メールにて直接お知らせします。

○**受講キャンセル、当日の欠席** 1、お申込み後にキャンセルする場合は、同志社大学東京オフィスまでご連絡ください。電話、メールで承ります。
2、受講されている講座を欠席された場合、後日その日に配布された資料をお渡ししますのでお申し出ください。一部、欠席連絡を要する講座につきましては、講座初回にご案内します。

	講師 まえだ くみ 前田 久美
英語講師	
開催概要	
回数: 全 15 回 定員: 15 名	
時間: 18:30～20:00	
受講料: 15回一括のみ 31,000円 +教材 3,024円 <small>消費税込み</small>	
教材: Interchange Level 2 Student's Book with Self-study DVD-ROM. 4th ed. (Interchange Fourth Edition)出版社 Cambridge University Press; 4版 教材は講座開始日に受付でお渡しいたします。(ご自身でご用意される場合は受講申請時に、教材不要を選択してください)2017年秋学期の教材を継続して使用します。	
*万が一開講出来ない場合は、開講日1週間前までに連絡いたします。	